

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
旧鶺沼宿・旧中山道地区

平成24年3月

岐阜県各務原市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	歩行快適度	%	0.0	60.0	78.0	確定 見込み ●	○	あり なし	78.0	H23年10月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	中山道の交通量低減およびスピード抑制が図られ、歩行の安全性や快適度の向上につながった。
指標2	来訪者滞留時間	h	0.5	1.5	1.5	確定 見込み ●	○	あり なし	1.5	H23年10月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	交流施設や店舗の立地とともに、ボランティアガイドなどの取り組みによる相乗効果が現れた。
指標3	まちづくり活動参加者数	人	30	50	60	確定 見込み ●	○	あり なし	88	H23年10月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	イベントの開催などにより、まちづくりの意識が高まり、活動が活発化し、活動参加者数の増加につながった。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・成果を持続させるために 行う方策 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して歩ける沿道空間の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察による速度規制の強化(40km/H→30km/H)、大型貨物自動車の進入禁止の規制 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生整備計画内にあたる中山道の自動車交通量は、整備前H21年の約12,000台/日に比べ約4,000台/日に減少している。 ・特に鶴沼宿への入口となる交差点であるつつじヶ丘入口交差点から菊川酒造前の三叉路交差点までの流出・流入量が減少している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察による交通規制遵守の取締り
	<ul style="list-style-type: none"> ・中山道鶴沼宿のまちなみ保全の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・修景に係る助成制度の利用促進 ・地元住民等による道路や水路などの美化活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビアンテナ等に配慮した軽微なものであるが、徐々に修景が進んでいる。 ・地域住民の意識が高まり、活動者数が増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者マナーの向上の取組み
	<ul style="list-style-type: none"> ・住民・行政の協働によるまちづくり活動の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催支援、まちづくり活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元参加のイベント開催のため、地域住民が一体となり、新たなまちづくり団体が誕生した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主開催によるイベント等の活動支援の強化
	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者及び地区住民が憩い・交流できる場の活用と維持管理の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元まちづくりの会による中山道鶴沼宿本陣の管理委託 ・中山道鶴沼宿町屋館、中山道鶴沼宿本陣等を活用したイベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者と住民とのコミュニケーションの機会が増加し、来訪者の地区理解がより高まるとともに、地域住民の郷土理解も向上した。 ・イベントの実施により、来訪者の多様化につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり団体の高齢化
<p>改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿場のまちなみ連続性の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区住民に対する修景助成の説明 ・広報や市ホームページなどによる情報発信 ・イベント時等での修景された民家の一般公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・家屋の維持補修を行う際に、修景に関する事前相談が増加した。 ・まちづくり団体だけでなく、その関係者等の意識も向上している。 ・修景家屋所有者だけでなく、地区全体の意識の向上が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区住民の高齢化
	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動の継続・活発化 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民、各まちづくり団体、行政と協働によるまちづくり活動の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・町並みが次世代に引き継がれるよう、住民、各まちづくり団体、行政の連携強化が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり団体の組織強化のためNPO法人化等の検討 ・各市町の団体との共同活動推進を検討
	<ul style="list-style-type: none"> ・リピーター客の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・JRさわやかウォーキングや名鉄ハイキングの開催 ・産業観光ツアーの誘致 ・アート展の開催 ・コンサートの開催 ・学習観光ツアー実施 ・「がんとぼち」、「ねぶかぞうすい」など郷土の「食」を利用した誘客と文化の情報発信 ・木曾川流域観光圏スタンプラリーの開催 ・地区の歴史景観資源を結ぶウォーキングルートの設定、鶴沼宿へ引き込む誘導看板などの整備 ・新鶴沼駅や市役所等の主要施設などにおける鶴沼宿のPR活動、イベント情報の発信 ・鶴沼宿をPRする情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿場間や街道などの活動ネットワークの広がりが見られる。 ・ツアー客の誘致や、アート展やコンサートの開催などによる集客層の拡大の効果が見られる。 ・学習観光ツアーは、小中学生などが地区への理解を深める学習機会となっている。 ・郷土文化のイベントや情報発信により、地区の魅力の向上につながっている。 ・市内の歴史観光ネットワークの充実を図ったことから、集客力の向上につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区周辺施設の案内看板の見直し ・市内外の宿場・街道のまちづくり団体等との連携イベントの開催支援の検討

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・地区周辺案内看板等の更新及び設置、見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区周辺の駅や主要公共施設をはじめ、新たな動線なども考慮して既設案内看板等の更新や設置位置等の見直し及び、新規の設置を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H24年度 	<ul style="list-style-type: none"> ・案内看板を見直すことで、来訪者をスムーズに誘導することができるとともに、宣伝効果が得られ、さらなる来訪者の増加が期待される。